

富士宮西ロータリークラブ会報

Rotary



石川 俊洋 会長

国際ロータリークラブ第2620地区 2024-2025年度
RI会長 ステファニー A. アーチック
会長 石川 俊洋 幹事 大谷 裕也

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
TEL.0544-28-1126 FAX.0544-25-8182 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.17 通算 1588 号 2024年12月6日(金)

♪Rotary Songs 国歌、それでこそロータリー

ゲスト・ヴィジター

なし

会長挨拶 会長：石川 俊洋 君

皆さんこんにちは、本日はどうしても予定があり例会を欠席させていただくことをお許しください。

先週の理事、役員会で次年度の組織の発表があり理事、役員会にて承認されました。本日は皆様のご承認を頂く年次総会でもあり申し訳ありません、さて2024年も残すところあと24日となりましたが皆さんの今年一年はどんな年だったでしょう？私事で大変恐縮ですが、諸物価の値上がりで建設業界もかなり打撃を受け上半期はかなり悲惨な状態でした。最近やっと、ぼつぼつと仕事が出始め巻き返しを図りたいところです。年が明けると一つ歳をとりますが最後の厄年が明けるのでほっとしています。本年度のロータリークラブも上半期を終え、折り返し点となりました後半も頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

本日は年次総会宜しく願いいたします。

幹事報告

幹事 大谷 裕也 君

*別紙幹事報告書参照

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	19	17	14	5		82.3%

欠席者：※外木規之君 遠藤壽男君 石川俊洋君 若林眞治君 近藤憲司君 ※は出席免除者

本日のお祝い

会員誕生日 宇佐美量三君；S16年12月12日

入会記念日 宇佐美量三君；H3年12月6日

若林眞治君；H23年12月9日

夫人誕生日 岡村吉彦君 裕美夫人（12月7日）

創業記念日 遠藤克彦君；S57年12月10日

スマイル

※久しぶりです。

石田道彦君

※免許証の更新しました。運転に気を付けます。

片岡博昌君

※人並にお祝いは来ますね。この一年何を頑張れたか

今猛反省中です。

宇佐美量三君

クラブ協議会

担当会長・幹事

年次総会・次期役員選・候補者指名・受託と次年度組織発表



【会報委員会】 委員長：加藤康雄 委員：片岡博昌 宇佐美量三 渡邊奈津実 近藤千佳

ラディカのお父さんから感謝のMail

1. 先月の22日に来日し、当会の例会で歓迎を受けたラディカのお父さんであるアショク・トシニワル氏から感謝のMailが来ています。「先日、娘のラディカと孫のアイラは日本を訪問し、富士宮西ロータリークラブで歓迎式典を開いて下さったのことに、家族、ならびにオーランガーバード・ウエストRCの会員を代表し、感謝申し上げます。ラディカにとっては25年ぶりの日本訪問。その時にお世話いただいた富士宮西RCの各位との旧交を温め、また、やっと恵まれた孫のアイラの顔をみなさんに見せることができ、本当に幸せだとラディカが申しています。オーランガーバード・ウエストRCの会長からも、御礼のことばをいただいており、また、いつかウェブ上での交流ができることを望んでいると申しています。

みなさんのクラブが発展しますよう、ともどもに奉仕の理想の追求に努力をしていきましょう。日本と印度が友好を深めることを期待して、終わりの挨拶にいたします。」

2. ロータリーのDEIのゆくえ

ロータリークラブにとってのDEI（多様性・公平さ・インクルージョン）とは以下の3つの要素を意味します。

・多様性 (Diversity) : 人種、民族、性別、性指向、障がい、宗教、年齢、職業、教育など、さまざまな背景を持つ人が集まること
・公平さ (Equity) : 公平さとは平等性と違い異なる属性の持ち主に対して単に等しく取り扱うのではなく、結果として同じ状況になるよう努力すること
・インクルージョン (Inclusion) : すべての人が受け入れられ、尊重され、活躍できる環境を整えること。つまり集団において、その集団に属していることの充足感「帰属感」+その集団の中で「ありのままの自分でいられること」このDEIというロータリーの行動基準に、どうも、存続の危機を迎えているのではないかという思いが強い。それはいうまでもなく、世界の保守再編というか、リベリズムとグローバリズムの流れに“行き過ぎ”を感じて、調整局面に入っているからです。アメリカでトランプが大統領に再選されましたが、このトランプ2.0を指示したのはアメリカの保守層であり、多様性の価値観が社会に過大に広がっていることに違和感を感じている人たちであったと言われます。この5年間についても、2020年に起こったBlack Lives Matter (ブラ

ック・ライブズ・マター、BLMと略されるは)とはアフリカ系アメリカ人に対する警察の残虐行為をきっかけにアメリカで始まった人種差別抗議運動のことですが、これが大きな広がりを見せました。また、性的マイノリティー (LGBTQ) への差別や偏見などを撤廃せよということをアピールするレインボー・デモもアメリカでは毎週どこかで、また、世界の各国 (あのロシアでさえ) 繰り広げられました。この保守化は、トランプ2.0のアメリカばかりでなく、極右と極左が連合するヨーロッパ各国でもア凝っていることらしい。アメリカでDEIが失速しているのではないかと考えさせられる“事件”の一つが、ハーバード大学の学長、初の黒人で2回目の女性であったクローディン・ゲイ氏が就任して一年も経たない2024年の一月にアメリカ議会の公聴会での失言を理由に突然更迭されたというものです。

ロータリーは1960年代の公民権運動から端を発する「アフーマティブ・アクション」(積極的差別是正措置)の政治的流れの中で、人権のワークの拡大に努めてきたと言える。しかし、どうも、社会の風向きががらっと変わってきているような気がする。最近、メディアはBLM運動とか、LGBTQについてほとんど報道してなくなっているように思うさて、この「逆流」の中でロータリー

はDEIをどう位置づけるのだろうか。



※本日は100万ドルの食事です